

試験日	令和2年6月10日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

()

問2【貨物自動車運送事業法】（安全管理規定等）

国土交通大臣は、安全統括管理者がその職務を怠った場合であって、当該安全統括管理者が引き続きその職務を行うことが輸送の安全の確保に著しく支障を及ぼすおそれがあると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、当該安全統括管理者を解任すべきことを命ずることができる。

()

問3【貨物自動車運送事業法】(輸送の安全)

運行管理者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附帯する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者とその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。

()

問4【貨物自動車運送事業法】(名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。

()

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

()

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、第20条に規定する業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、一般貨物自動車運送事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。

()

問7【自動車事故報告規則】(速報)

貨物自動車運送事業者は、その使用する自動車について2人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

()

問 8 【道路運送車両法】（定期点検整備）

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

()

問 9 【道路運送車両法】（整備管理者選任届）

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から15日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

()

問 10 【労働安全衛生法】（事業者等の責務）

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。

()

問 11 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公平且つ健全な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の自律的で自由な発達を促進することを目的とする。

()

問 12 【下請代金支払遅延等防止法】（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、30日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定

められなければならない。

()

問13【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しいものには○を、そうでないものに×を記入しなさい。

- ア. 事故発生当時の天候 ()
- イ. 事故の発生日時 ()
- ウ. 事故の当事者（乗務員を除く。）の氏名 ()

問14【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならないことになっています。

対象となる運転者として正しいものには○を、そうでないものに×を記入しなさい。

- ア. 負傷者が生じた事故を引き起こした者 ()
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者 ()
- ウ. 高齢者（65才以上の者をいう。） ()

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の許可の基準を定めているが、許可基準として誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 自動車車庫の規模に関し、その事業を継続して遂行するため適切な計画を有するものであること。
- イ. その事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
- ウ. その事業を自ら適格に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及び社員を有するものであること。
- エ. 事業用自動車の数に関し、その事業を継続して遂行するために適切な計画を有するものであること。

()

問2 【貨物自動車運送事業法施行規則】（運送約款の記載事項）

貨物自動車運送事業法第10条第1項に規定する運送約款に記載しなければならない事項として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車に関する事項
- イ. 運送の引受けに関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項
- エ. 事業者の保管施設に関する事項

()

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者が国土交通大臣、地方運輸局長、運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない場合として誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
- イ. 法人である一般貨物自動車運送事業者の役員又は社員に変更があった場合
- ウ. 氏名、名称又は住所に変更があった場合
- エ. 資本金の額を変更した場合

()

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

() () ()

問5【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者が提出しなければならないとされている事業実績報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後100日以内
 - イ. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後120日以内
 - ウ. 前年1月1日から12月31日までの期間を毎年5月31日まで
 - エ. 前年4月1日から3月31日までの期間を毎年7月10日まで
- ()

問6【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間について、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められている事項として正しいものはどれか。次のア～オの中から3つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として299時間を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、12時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
- ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。

() () ()

問7【道路交通法】(交通事故の場合の措置)

交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに運転を停止して講じなければならない必要な措置として規定されている事項として正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
- イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
- ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること

()

問8【下請代金支払遅延等防止法】(親事業者の遵守事項)

親事業者が、下請事業者に対し製造委託等をした場合の禁止行為として、誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()にその記号を記入しなさい。

- ア. 下請代金をその支払期日の経過後なお支払わないこと。
- イ. 下請事業者の給付の内容と同種又は類似の内容の給付に対し通常支払われる対価に比し著しく低い下請代金の額を不当に定めること。
- ウ. 下請事業者の責に帰すべき理由がある場合に、下請代金の額を減ずること。
- エ. 下請事業者の給付の内容を均質にし又はその改善を図るため必要がある場合その他正当な理由がある場合を除き、自己の指定する物を強制して購入させ、又は役務を強制して利用させること。

()

試験日	令和2年6月10日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（定義）

「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業をいう。

(○)

問2【貨物自動車運送事業法】（安全管理規定等）

国土交通大臣は、安全統括管理者がその職務を怠った場合であって、当該安全統括管理者が引き続きその職務を行うことが輸送の安全の確保に著しく支障を及ぼすおそれがあると認めるときは、一般貨物自動車運送事業者に対し、当該安全統括管理者を解任すべきことを命ずることができる。

(○)

問3【貨物自動車運送事業法】（輸送の安全）

運行管理者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附帯する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者がその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。

（ × ）

問4【貨物自動車運送事業法】（名義の利用等の禁止）

一般貨物自動車運送事業者は、その名義を他人に一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業のため利用させることができる。

（ × ）

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

貨物自動車運送事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

（ ○ ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の指導及び監督）

運行管理者は、第20条に規定する業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、一般貨物自動車運送事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。

（ × ）

問7【自動車事故報告規則】（速報）

貨物自動車運送事業者は、その使用する自動車について2人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話、ファクシミリ装置その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

（ × ）

問 8 【道路運送車両法】（定期点検整備）

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

(×)

問 9 【道路運送車両法】（整備管理者選任届）

大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から15日以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

(○)

問 10 【労働安全衛生法】（事業者等の責務）

事業者は、単にこの法律で定める労働災害の防止のための最低基準を守るだけでなく、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて職場における労働者の安全と健康を確保するようにしなければならない。また、事業者は、国が実施する労働災害の防止に関する施策に協力するようにしなければならない。

(○)

問 11 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公平且つ健全な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の自律的で自由な発達を促進することを目的とする。

(×)

問12【下請代金支払遅延等防止法】（下請代金の支払期日）

下請代金の支払期日は、親事業者が下請事業者の給付の内容について検査をするかどうかを問わず、親事業者が下請事業者の給付を受領した日（役務提供委託の場合は、下請事業者がその委託を受けた役務の提供をした日。）から起算して、30日の期間内において、かつ、できる限り短い期間内において、定められなければならない。

(×)

問13【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（事故の記録）

事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項で正しいものには○を、そうでないものに×を記入しなさい。

- ア. 事故発生当時の天候 (×)
- イ. 事故の発生日時 (○)
- ウ. 事故の当事者（乗務員を除く。）の氏名 (○)

問14【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（従業員に対する指導及び監督）

事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならないことになっています。

対象となる運転者として正しいものには○を、そうでないものに×を記入しなさい。

- ア. 負傷者が生じた事故を引き起こした者 (○)
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者 (×)
- ウ. 高齢者（65才以上の者をいう。） (○)

Ⅱ. 次の問題について、該当するものを選び（ ）内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】（許可の基準）

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の許可の基準を定めているが、許可基準として誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 自動車車庫の規模に関し、その事業を継続して遂行するため適切な計画を有するものであること。
- イ. その事業の計画が過労運転の防止、事業用自動車の安全性その他輸送の安全を確保するため適切なものであること。
- ウ. その事業を自ら適格に、かつ、継続して遂行するに足る経済的基礎及び社員を有するものであること。
- エ. 事業用自動車の数に関し、その事業を継続して遂行するために適切な計画を有するものであること。

（ ウ ）

問2【貨物自動車運送事業法施行規則】（運送約款の記載事項）

貨物自動車運送事業法第10条第1項に規定する運送約款に記載しなければならない事項として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車に関する事項
- イ. 運送の引受けに関する事項
- ウ. 主たる事務所およびその他の営業所に関する事項
- エ. 事業者の保管施設に関する事項

（ イ ）

問3【貨物自動車運送事業法施行規則】（届出）

事業者が国土交通大臣、地方運輸局長、運輸監理部長又は運輸支局長に届け出なければならない場合として誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 一般貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合
- イ. 法人である一般貨物自動車運送事業者の役員又は社員に変更があった場合
- ウ. 氏名、名称又は住所に変更があった場合
- エ. 資本金の額を変更した場合

(エ)

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の業務）

運行管理者の業務について、正しいものはどれか。次のア～カの中から3つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 定められた勤務時間及び乗務時間の範囲内において乗務割を作成し、これに従い運転者を事業用自動車に乗務させること。
- イ. 事業用自動車の保管の用に供する自動車車庫を適切に管理すること。
- ウ. 運転者に対して点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持すること。
- エ. 事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録すること。
- オ. 定期点検整備の実施計画を定めること。
- カ. 運転者台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

(ア) (ウ) (カ)

問5【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者が提出しなければならないとされている事業実績報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後100日以内
- イ. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後120日以内
- ウ. 前年1月1日から12月31日までの期間を毎年5月31日まで
- エ. 前年4月1日から3月31日までの期間を毎年7月10日まで

(エ)

問6【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間について、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められている事項として正しいものはどれか。次のア～オの中から3つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 1箇月の拘束時間は、原則として299時間を超えないものとする。
- イ. 1日についての拘束時間は、12時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とする。
- ウ. 勤務終了後、継続8時間以上の休息期間を与えること。
- エ. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり44時間を超えないものとする。
- オ. 連続運転時間は、4時間を超えないものとする。

(ウ) (エ) (オ)

問7【道路交通法】(交通事故の場合の措置)

交通事故があったときは、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに運転を停止して講じなければならない必要な措置として規定されている事項として正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び()にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
- イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
- ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること

(ウ)

問8【下請代金支払遅延等防止法】(親事業者の遵守事項)

親事業者が、下請事業者に対し製造委託等をした場合の禁止行為として、誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()にその記号を記入しなさい。

- ア. 下請代金をその支払期日の経過後なお支払わないこと。
- イ. 下請事業者の給付の内容と同種又は類似の内容の給付に対し通常支払われる対価に比し著しく低い下請代金の額を不当に定めること。
- ウ. 下請事業者の責に帰すべき理由がある場合に、下請代金の額を減ずること。
- エ. 下請事業者の給付の内容を均質にし又はその改善を図るため必要がある場合その他正当な理由がある場合を除き、自己の指定する物を強制して購入させ、又は役務を強制して利用させること。

(ウ)

北陸信越運輸局

(注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回						再試験						合計																	
	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	合格率	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	合格率	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	合格率												
		新規	譲渡等					新規	譲渡等					新規	譲渡等				新規	譲渡等										
R2.6.10	11	11	0	10	10	0	1	1	0	90.9%	2	2	0	2	2	0	0	0	0	100.0%	13	13	0	12	12	0	1	1	0	92.3%